

永年勤続感謝伝達式

庶務担当 高橋智子

1月6日(木曜日)に永年勤続等伝達式を行いました。東京都永年勤続感謝は、東京都職員として勤続年数が25年以上の方が対象となり、9名の方に感謝状が贈呈されました。公益社団法人日本重症心身障害福祉協会からは、重症心身障害児者施設に通算して10年以上勤務されている方を対象とし、11名の方に表彰状及び記念品が贈呈されました。

事業運営に御尽力いただいていることに改めて感謝を申し上げますとともに、皆様のますますの御活躍を期待しています。

武蔵台学園からお花を頂きました

生活療育支援科 石田泰美

毎年、東京都立武蔵台学園中学部2年生の皆さんが大切に育てた植物を、センターに贈呈してくださっています。今年は、2月9日(水曜日)に、かわいらしいヒヤシンスのお花を頂きました。例年は、生徒の皆さんが揃ってセンターまで来てくださり、利用者の代表の方達と顔を合わせて小さな贈呈式を行っているのですが、昨年と今年は、新型コロナウイルス感染症流行のため、学校の先生が持って来てくださいました。一緒に生徒の皆さんからのメッセージカードも頂き、そこには「府中療育センターのみなさんへ ヒヤシンスを育てました。かざってください。」「わたしたちが心をこめて育てました。花がさきはじめました。窓の近くにかざってください。」等々、心のこもった言葉がたくさんありました。お花は、メッセージカードと共に2階「ラウンジこかげ」に飾り、白、紫のヒヤシンスの花からは、甘い香りが立ちのぼって通りがかる人々を楽しませてくれました。一足早い春が感じられる嬉しい贈り物でした。

後日、センターの利用者の方々が製作したお礼のカードを、武蔵台学園の生徒の皆さんに届けました。なかなか収まらないコロナ流行ですが、そんな中でも続いているこの交流を大切にしたいと思えます。そして、早くまた、生徒の皆さんと直接会ってお話ができる日が来ることを心から願っています。武蔵台学園中学部2年生の皆さん、本当にありがとうございました。



〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第531号 発行日 令和4年3月31日

通園卒園式

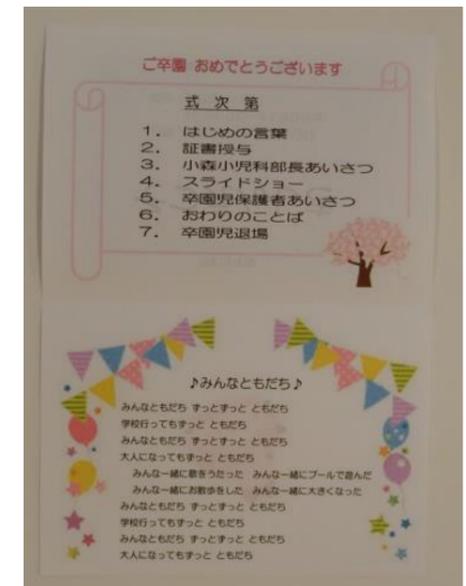
通園担当 森 由季

令和4年3月28日(月)、桜の花の咲き誇るなか、令和3年度通園卒園式を行いました。今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で時間を短縮するとともに、感染防止対策を徹底したうえで実施することになりましたが、無事に13名の卒園生を送り出すことができました。

当日、子どもたちは卒園式のために用意してもらった素敵なお洋服を身に着け、少し緊張した面持ちで登園。会場もいつもの保育室ではなく多目的ホールとあって、なかなか緊張が解けない子もいましたが、お友だちの顔をみたり、先生たちやお友だちのパパやママに声をかけてもらううちに、少しずつ安心したようでした。

卒園式では、一人ひとり名前を呼ばれ、小森小児科部長から直接卒園証書を受け取った子どもたち。お話も落ち着いて聞くことができ、その姿はすっかりお兄さん、お姉さんになっていました。子どもたちそれぞれの通園での成長の記録をスライドショーで映し出した際には、思わず涙を浮かべる保護者の方もいらっしゃいましたが、みんなで立派に成長した子どもたちの姿を確認し、会場全体が喜びに溢れた温かい雰囲気になりました。ピアノの生演奏が流れるなか、胸を張り、晴れ晴れとした表情の子どもたちが退場し、式は終了となりました。

思い出のたくさん詰まった通園を巣立ち、4月からは小学生となる13名の子どもたち。新しい環境のなかでものびのびと元気に過ごしてもらいたいと思います。



ご卒業 おめでとうございます

式次第

1. はじめの言葉
2. 証書授与
3. 小森小児科部長あいさつ
4. スライドショー
5. 卒園児保護者あいさつ
6. おわりのことば
7. 卒園児退場

♪みんなとちどち♪

みんなとちどち すっすっ とちどち
学校行ってもすっす とちどち
みんなとちどち すっすっ とちどち
大人になってもすっす とちどち
みんな一緒に登りつた、みんな一緒にプールで遊んだ
みんな一緒にお歌をうた、みんな一緒に大きくなった
みんなとちどち すっすっ とちどち
みんなとちどち すっすっ とちどち
みんなとちどち すっすっ とちどち
大人になってもすっす とちどち

くぬぎ分教室卒業式

東京都立府中けやきの森学園くぬぎ分教室

みんなの思いがひとつになって

今年度、くぬぎ分教室では小学部、中学部、高等部と3人の児童・生徒が卒業式を迎えました。

「人生の節目なので本校の卒業式に参加させてあげたい！」

センターの院長先生始め、病棟、生活療育支援科、運転さん他皆さん方が熱い思いで本校への卒業式参加にお力を注いでくださいました。

しかし、1月頃から再び新型コロナウイルスオミクロン株が広がりを見せ、2月下旬になっても好転する兆しはなく、本校の卒業式をオンラインで繋ぎ、多目的ホールの大きな会場で卒業式に参加することとなりました。

卒業証書は後日、校長先生から直接手渡しで授与されました。

3月24日はセンターの多目的ホールをお借りし、花道に鉢植えを置き、正面にはこれまで図画工作・美術の授業で全員が制作してきた作品や卒業制作を展示し、院長先生、事務長、看護科長、生活療育支援科長、看護師さん、保護者の方々が御見守りくださる中、卒業証書を受け取りました。

当日の卒業生は、正装した立派な姿で、しっかりと卒業証書を受け取り、病棟の皆さんや生活療育支援科の皆様が花道で温かい御言葉や花吹雪で送り出してください、その様な中、卒業生たちはいつも以上に輝いた表情が印象的でした。

小学部6年間、中学部、高等部3年間の間に、状況に応じて行動できるようになったり、目の前の自分のやるべきことに取り組む気持ちが育ったりと大きく成長しました。それは、日頃、成長を見守ってくださいます保護者の皆様、センターの皆様のお陰です。

今年度無事3人の卒業生を送ることができ感謝の気持ちで一杯です。

これからもくぬぎ分教室の児童・生徒の成長を見守り応援してください！



ひな祭り会

通所 野崎里紗

3月3日（木曜日）にひな祭り会を行いました。午前は、「流し雛」とオリンピック競技の「スキージャンプ」をモチーフに考えた「雛だるまスキージャンプゲーム」を行いました。ゲームで使う雛だるまは利用者さんが活動で作りました。紙コップで作った雛だるまにボールを入れて、坂道を滑らせ、距離を競いました。紙コップの中にボールを入れて、「さあ、行くぞ！」と挑戦してみますが、なかなか雛だるまがうまく滑らないこともありました。何度か挑戦して、上手に滑らすことができると、「やったー！」とみんなが喜ぶ様子が見られました。1番雛だるまを飛ばした方の距離は「53cm」でした！

午後は、お雛様とお内裏様の衣装を身にまとい、雛飾りと一緒に写真撮影を行いました。みなさん衣装がとっても似合っていました。



退職者を送る会

庶務担当 河野亜香理

3月16日（水曜日）センター多目的ホールにて、退職者を送る会を開催しました。これまでの御貢献に対し感謝の気持ちを込めて、退職者へ花束と記念品（お菓子と、所属からの心がこもった寄書）を贈呈しました。以前のようにホテルで盛大に開催することができなかったことは残念ですが、気持ちは伝わったのではないかと思います。

今年度退職を迎えられる皆さま、長い間東京都に多大なる貢献をいただき本当にありがとうございました。今後ますます御活躍されることを祈念いたします。

